

## 第三回元素化学セミナー・講演会

◆講師◆ 立教大学理学部未来研究室

菅又 功 助教



◆日時◆ 令和3年 10月26日 (火)

13:30 ~ 15:00

◆演題◆ 高周期16族元素を中心とするヘテロアレン型分子の合成と性質

◆場所◆ ハイブリッド形式

・筑波大学B701室

・Zoomによるオンライン講演会

(事前に御連絡いただければzoom会議室情報をお伝えします。)

これまでの有機化学は第2周期の典型元素であるC, N, Oが中心となっています。そこに、ケイ素, リン, 硫黄などの第3周期以降の典型元素を組み込むことで新しい性質を有する有機分子が生まれます。菅又先生のグループでは、有機化学で重要な化学種の一つである集積二重結合化合物、所謂アレン類 $>C=C=C<$ の中心sp炭素(=C=)を、高周期16族元素に置き換えたユニークなアレン型分子ビス(メチレン)- $\lambda^4$ -カルコゲナン $>C=Ch=C<$  (Ch = S, Se, Te)の合成を達成しました。その性質はアレン型分子と大きく異なるもので、これまでの有機分子にない非常にユニークなものでした。本講演では、これらのユニークなアレン型分子の構造や性質についての研究成果に加え、水素吸蔵に活用できるMOF (Metal Organic Frameworks, 金属有機構造体)に関する最近のご研究成果についてもご紹介いただく予定です。

\*この講演会は、「有機化学特論 (FE14131)」(化学類)の一部になります。

◆問合せ◆

笹森貴裕 (筑波大学数理物質系化学域・TREMS)

029-853-4412、sasamori@chem.tsukuba.ac.jp